

令和5年度 第2回釜石市立鶴住居公民館運営審議会 開催結果

- 1 開催日時 令和6年3月15日(金) 午後3時30分～午後4時30分
- 2 開催場所 鶴住居公民館 多目的室
- 3 出席委員 7名
小山士委員長、三浦紘子副委員長、佃拓生委員、佐藤一成委員
澤本和子委員、瀬戸保子委員、山口未来委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局等 5名
まちづくり課 小池幸一主査、浦城太郎主任
鶴住居公民館 松下隆一館長、佐藤杏子保健師、植田優子主任栄養士
- 6 傍聴者 なし

7 結果

- (1) 植田主任栄養士から本日の審議会について、委員7名中7名が出席しており、釜石市立公民館規則第10条第3項に基づき、会議が成立していることを宣言。
- (2) 本会議の議長は、釜石市立公民館規則第9条第1項に基づき、小山委員長にお願いし、小山委員長が議事進行を行い、令和5年度釜石市立鶴住居公民館事業の実施結果、令和6年度釜石市立鶴住居公民館事業の概要についてなどを協議の結果、すべて承認された。

8 内容

(1) 委嘱辞令交付

期間：令和6年1月1日から令和7年12月31日まで（2年間）

まちづくり課より、委員7名に対し委嘱状の交付を行った。

(2) あいさつ

① 釜石市市民生活部まちづくり課長

代理 まちづくり課生涯学習係主査 小池幸一

今日は、風が強い中参加いただきまして、ありがとうございます。

今、紹介ありましたけれども、本来であれば、当市のまちづくり課 課長の佐藤が参りまして、皆様にご挨拶を申し上げるところなのですが、別日程と重なってしまいましたので、私の方から一言だけ、ご挨拶を申し上げたいと思います。

委員の皆様におかれましては、日頃から当市生涯学習の推進にご協力いただき、本当に感謝しているところです。今回事業の概要を確認しましたところ、公民館事業につきましても、さまざまなメニューが実施・展開されているなど思っております。

また、特に鶴住居地区は人口減少が非常に多いところですが、皆さんで力を合わせてまちづくりを行うために、公民館事業をしっかりと行っていくのも一つの方法だと思っていますので、地区の住民に生きがいを与えられるような事業を構築していただきたいと思います。本日は、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

② 釜石市立鶴住居公民館運営審議会委員長 小山士

おはようございます。今、ご紹介いただきました委員長の小山です。よろしくお願いいたします。本日の出席者・委員の方々を見ますと、ほとんどの方々、知っている方でございますので、簡単ですが、挨拶にかえさせていただきます。

※植田主任栄養士より、委員及び事務局の出席者名を報告

(3) 協 議

① 令和5年度釜石市立鶴住居公民館事業の実施結果について

松下館長が別添資料「令和5年度 釜石市立鶴住居公民館運営結果」により説明

※委員の主な発言等（概要）

小山委員長

ありがとうございます。

ただいま事務局の方から令和5年度釜石市立鶴住居公民館事業の実施結果について報告がありました。みなさんから改めて意見や質問を伺いたいと思います。何かありませんでしょうか？

先生方、聞きたいことでもいいです。何かありませんか。

佃委員

釜石東中学校です。お世話になっております。

すみません、あの、夏休みと冬休みのサポート事業についてですが、参加者がゼロというところを見てちょっとあれっと思いました。子ども達にとっては、本当に貴重な機会なので多く参加できればと思う。子ども達にとっては、生徒数が減っている所以サポート事業の参加者が減った部分もあるのかなというふうに思っていました。昨日、進路の発表もあって無事に全員行き先が決まりました。この回だけじゃなくて様々なところで子ども達のご支援をいただいたおかげかなと思っております。また、別教室の子ども達も無事に進路が決まりました。今回は、良い経験になったと思っております。

小山委員長

釜石東中学校さん、ありがとうございました。鶴住居小学校さんは何かありますか？

佐藤委員

鶴住居小学校です。お世話になっております。

この資料の中だと、今年度は1・2年生が昨年度に引続き、鶴住居公民館で、地域住民とボッチャの交流を行いまして、本当にこの資料に書いてある通り地域の方と触れ合いながら終始笑顔で行うことができ、またやりたいという声が多かったです。欲張るのですが、今後、ボッチャ以外で何か可能性はないのかなと思って資料を見たりしていますが、今度は実際に学校の方に来ていただきながら、なんらかの交流ができないかなと思っています。また今後ともよろしく願いいたします。

小山委員長

先生方、ありがとうございます 事務局から何か一言お願いします。

松下事務局長

小学校・中学校ともにありがとうございます。

小学校についてもそうなのですが、今後、やっぱり中学校の子どもさん達とふれあう時間を増やしたいと思うんですけど、中学校においては、やっぱりちょっと大きくなってしまっ地域の方々との交流もなかなか難しいものだなというところです。来年度、できれば公民館まつりにステージ発表等をやっていたらと思っております。また、年度が代わりましたらご相談させていただきたいと思います。

また、ニュースポーツなんですけどボッチャだけではなく、スカットボール、輪投げなどもございますので、利用したいという場合はお貸しできますのでどうぞ使用していただきたいと思います。

三浦副委員長

今年、令和6年になってしまったんだけど、令和5年度については、地域の方と子ども達との触れ合いがいつもよりもちょっと少ないかなとも思ったんですけど。そうでもないですか？

松下事務局長

特に子どもの事業等で廃止した事業はありません。内容的には、令和4年度とほぼ同じになっております

小山委員長

ありがとうございました。

令和5年度釜石市立鶴住居公民館事業の実施結果についてですが、その他何かありませんか？
何もないようなので、拍手で了承をお願いします。

それでは、次の議題に入りたいと思います。

小山委員長

令和6年度釜石市立鶴住居公民館事業の概要についてお聞きたいと思います。事務局から説明をお願いします。

② 令和6年度釜石市立鶴住居公民館事業の概要について

松下館長が別添資料「令和6年度 釜石市立鶴住居公民館事業計画」により説明

小山委員長

事務局の方から令和6年度の事業について説明がありました何かご意見ご質問がありましたらお願いします。

山口委員

先ほど質問しようかなと思ったのですが、乳幼児を中心とした地域ぐるみの子育てへの支援なので、保護者の方や若い方皆さん、仕事をしているので木曜日の平日だと参加できなくていいのかな？と思っています。

けれどもなかなかそんなことは、難しいので1年に1回でも変更できないのかなって思います。考えていただけたら嬉しいですね。

佐藤事務局

この事業なのですが 鶴住居子育て支援センターと共同でやっています。鶴住居子育て支援船ターは土曜日にも休みですが、そのことについては話はしています。

確かにその通り、働いているお母さんが多くて参加者が少ないものが現状なので働いている方も参加してもらう機会と考えると、今後実施をする際には、鶴住居子育て支援センターと相談したいと思います。ありがとうございます。

松下事務局長

鶴住居子育て広場に限らず、公民館事業はほとんどが、平日の日中という状態になってますので、なかなか皆さん働いてる方とかは、参加するのが難しい時間帯ということです。参加される方というのは、やっぱり60歳を過ぎた方がほとんどになってしまいます。

公民館事業については、いろんな魅力的なメニューを頭を絞って検討しているんですけどやっぱりなかなかこう若い方々っていうのは参加されてないということで、確かに土曜日・日曜日に開催すれば新しく若い方が参加してくれるのだと思いますが、可能かどうかというのはちょっとあのまた別の話なんですけど考えては行きたいなとは思っていました。

実際は、土曜日・日曜日に開催している公民館もなくはないので、また、その仕事をすればただで出るだけじゃなくて超勤の費用が出てくるとか、いろいろあるのでそういうところを考えながら今後、1回でも2回でもできればいいかなとは思ってます。

佐藤委員

鶴住居地域交流会で、1・2年生は毎年ボッチャを利用されているんですが、でもほかの学年はどんな感じかなと思ったときにこの鶴住居防災学習で例えばあるじゃないですか学校としての防災教育に力を入れてるんですけども公民館では、どんな感じなのかなと思ってですね、例えば子どもがああボッチャ大会みたいな感じでスポット学年が参加してそこで地域の方と一緒に学べるレベルなのかなちょっとその辺がイメージつかないので、教えていただけないでしょうか。

松下事務局長

まあ簡単にいうとあの津波災害緊急避難場所をウォーキングしながら防災危機管理課よりいろいろと説明を受けながら、歩くという感じなんです。あの子供さんも参加すること自体は難しいことではないと思います。逆に防災危機管理課の職員からいろんな話を聞いて歩くので、防災学習の一つになるのかなと思います。

佐藤委員

公民館事業なので公民館でやるのはわかっているのですが、この同じ中身が例えば小学校に場所を変えて行う時に、例えばそれはまた別のやり取りが必要なんですかね。

防災学習のその小学校バージョンを小学校でやっていただけますか？というのは公民館事業とちょっとまた違って講師の方であるとか防災危機管理課の方とのやり取りで成立して開催するのですよね。

松下事務局長

やってやれないことはないのですがそうなると公民館でというよりは防災危機管理課の方になるのではないかと思います。

佐藤委員

いいんですけど多分わかるんですけど、地域の方を招いて子どもの学びになるかなっていうのもちょっと考えながら聞いていました。

松下事務局長

相談いただければ、可能な限りつなぎ役として対応いたします。

まちづくり課 浦城主任

生涯学習係の方で出前講座を準備しております、相談いただければ対応いたします。小学生向けの出前講座というものも準備しております。その中に、あの防災危機管理課がやっているメニューもありますので、公民館を通じてもいいですし、私たちのほうで防災危機管理課の調整ということもできるかと思っておりますのでよろしくお願いします。

小山委員長

その他何かありませんか。何もないようですね。以上でよろしいですか。

令和6年釜石市立鶴住居公民館事業計画については了承するものと致したいと思います。拍手をお願いします。

公民館では、色々と魅力的なメニューを考えていますのであの皆さんの方からも住民に対し、こういう事業をやっているから公民館事業へ参加してみましょ。などお声掛け頂ければ助かります。

最近、参加者は増えてきているのですが、新しい参加者がますます増えるよう、よろしくお願いします。

小山委員長

あと、みなさん、言い忘れたこと等あれば。ないですか。なければこれで終了したいと思います。今日は大変、議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

植田事務局

はい、小山委員長どうもありがとうございました。本日の日程は以上で終了となります。それでは、令和5年度 第2回鶴住居公民館運営審議会を終了いたします。次回の運営審議会は、5月頃開催の見込みで、令和6年度釜石市立鶴住居公民館 事業実施計画について、ご審議いただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。本日は、ご多忙のところどうもありがとうございました。お疲れ様でした。